

No.14

1988

12月1日発行

萩の郷

発 行 者
下 市 田 区

発行責任者
下 井 武 平

印 刷
キタバヤシ印刷



下市田公民館

下市田公民館は創立後三十年近い歳月が流れて、公民館活動の拠点として活用されてきた。

現在の建物の建設以前は荒神様の社務所を区の事務所としていたが、昭和三十一年から区有林を売却した資金を基に公民館を建設しようという区民の総意により、三十四年春着工、十月十五日に竣工したものである。当時の公民館としては、体育館を兼ねた舞台付の講堂、会議室と兼用の結婚式場、集会室、青年研修室、図書室、調理場等時代を先どりした近隣にみられない、近代的建物であった。

当時は一〇〇〇㎡余の敷地に総延面積木造六〇〇㎡の建物を久保田正吉氏の設計により五〇〇万円余の工事費で三六組をはじめとした業者が施工したものである。

長年区民に親しまれ活用された施設も、何か時代にそった建物への模様替えの声も聞かれる時期ともなった。

区の情勢について

区長 下井武平

一、裁判の其の後につきましては、去る八月二十六日、十月六日、十一月十五日の三回開廷されいづれも西沢弁護士一人上京され、次回十二月二十日いよいよ結審の見込みであります。何としても勝訴を祈る次第であります。

二、土木工事につきまして

は、一一一号线、一一三号线が着工となり時には通行止になりますが御協力を願います。又間ヶ沢堤の斜樋の改修工事は十月末に完成、今水を溜めています。

三、六十四年度各種事業の計画が決定されました。関係の皆様の御協力をお願い申し上げます。

四、工業団地につきましては、現在旭松食品(株)、綿半鋼機(株)、小林工業(株)、綿藤(株)外松、板国油店、北星ハウス(株)、トキナー光学(株)、株岡谷酸素の九社が操業又は敷地の使用を始めています。区としては残り七社の早期の操業開始を望む次第であります。

終りに代議員・区の各委員・常会長及び公民館役員の任期が近づきました。任期中は大変御苦勞様でした。又萩山神社の氏子総代が改選されました。三年間御苦勞様でした。

猶新たに選任された方々の御活躍を御期待いたします。



カラオケ大会であいさつする区長

昭和63年度 下市田区一般会計中間報告書

自 昭和63年4月1日～至 昭和63年9月30日

収入金計 33,430,226円

支出金計 16,971,675円

差引残高 16,458,551円

収入の部

項 目	予 算 額 (千円)	既 収 入 額 (円)	予 算 残 高 (円)	摘 要
1. 区 費	12,240	7,052,400	5,187,600	道路基金収入を含む 個人・法人・区費
2. 繰 入 金	8,021	6,776,020	1,244,980	地域振興資金
3. 町 支 出 金	3,800	2,905,388	894,612	道路改良補助金 他
4. 財 産 収 入	1,000	147,000	853,000	家賃 他
5. 寄 付 金	2,600	1,463,954	1,136,046	道路改良地元負担金
6. 繰 越 金	1,000	13,276,857	△ 12,276,857	
7. 諸 収 入	1,600	1,808,607	△ 208,607	山作業出不足金
収 入 合 計	30,261	33,430,226	△ 3,169,226	

支出の部

項 目	予 算 額 (千円)	既 支 出 額 (円)	予 算 残 高 (円)	摘 要
1. 総 務 費	11,219	4,847,224	6,371,776	
2. 厚 生 費	587	366,100	220,900	
3. 林 務 費	1,490	886,240	603,760	
4. 土 木 費	7,060	6,662,801	397,199	用地補償費 他
5. 水 利 費	4,005	1,949,510	2,055,490	間ヶ沢貯水池整備費 他
6. 消 防 費	1,478	959,800	518,200	
7. 公 民 館 費	2,666	1,300,000	1,366,000	公民館助成
8. 予 備 費	1,756	0	1,756,000	
支 出 合 計	30,261	16,971,675	13,289,325	

下市田の 古木・大木巡礼

三区、福島光三郎

古木大木のある地域には何となく文化の匂いが漂っている。

下市田で目立つ大木は、日影・久保田昌幸さん裏手の大樫があげられる。幹の太さ三M七五センチである。

荒神社の境内には、三M以上の樹木が三本ある。

榎が三M五五、大杉が三M五三、黒松が三M四〇。

この黒松は町内随一の巨木で立派なものである。

萩山神社の境内には、三M以上の樹木がなく、一寸さびしい。参道左側に二M七五の赤松はある。

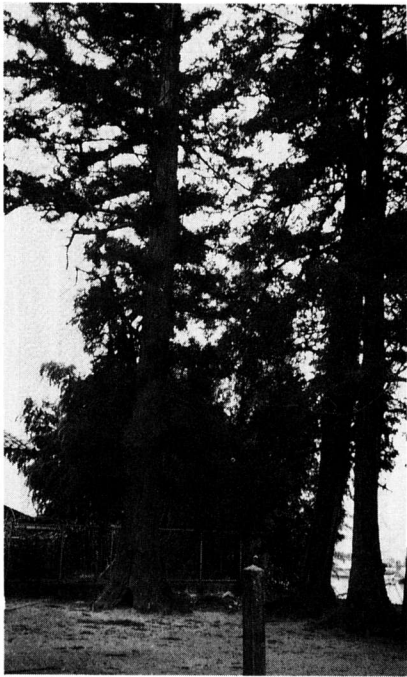
この黒松は町内随一の巨木で立派なものである。

榎では、市場・唐沢氏神のさくららは、太さ三M三〇、つづいて、桜堂のさくらが太さ三M〇八、この桜は花色の良さで出色のもの。

さわらの木は、古御家の村喜威さんの一M四〇、毎年清そな花を咲かせる。

榎では、市場・唐沢氏神のさくららは、太さ三M三〇、つづいて、桜堂のさくらが太さ三M〇八、この桜は花色の良さで出色のもの。

さわらの木は、古御家の村喜威さんの一M四〇、毎年清そな花を咲かせる。



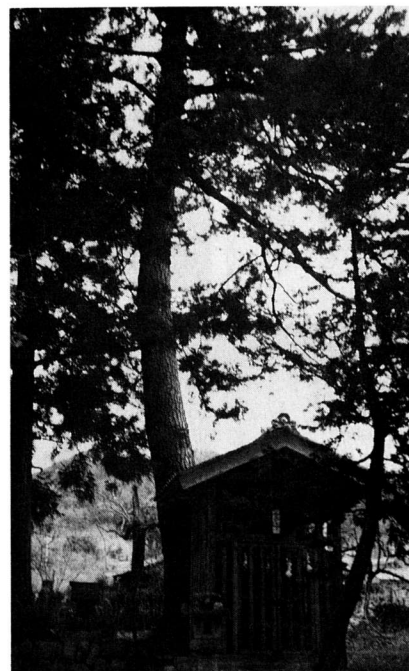
荒神様の大杉

蜂谷睦雄さんの氏神のものが目につく。太さ二M八〇の榎は、二M七五の荒神社のものが大きい。

あらがしは下市田公園のもの二M七〇。くぬぎは、二M五〇の橋都正さんのポチのものがあ

る。胡桃では、二M一〇のものが、松島信幸さんの屋敷内にある。

いちうは、松源寺の境内にあるものが一M五〇。柏では、上市場・中村藤雄さん宅の裏手のものが、一M七五。



荒神様の黒松

榎は、一M三〇のものが井駒家の牛舎の傍ら今川さんのポチにある。

ちゃんちんぼく、〇・九六のものが間ヶ沢に生えている、原正さん所有。

さるすべり、〇・九二のものが松源寺の境内にある。

びわ、同じく松源寺の境内南隅にあるものが一番大きい。

梅は、太さ一M一七のものが松源寺裏手旧道(長司ケ洞へ下る)の傍らにあるが古い。

こぶし、南小教員住宅の前にあるのが一M五〇で下市田としては一番大きい。

ふじ、出砂原六地藏前にあるのが幹の直径で七〇センチ。

はなの木が同じ土地に立っている太さ一M二七。

目通りの幹の太さで、標きたい。

て茂り樹高一五M位で樹勢極めて旺盛である。

みなさんのうち、

梅の大きな樹の所在がありましたら御教示をいただ

この他一位・ね

むの木・柳・夏つ

ばき・みづき・桐

等々がある。

尚桑の木を大きく

育て、大木とし

後世に残したい。

桑の大木は泰阜

村にある、

長司ケ洞を二百

メートルほど登っ

た左手に珍らしい

落葉樹が一本立っ

ている。

目通りで幹の太さが二M三

〇センチ、樹肌はクロベ(ネ

ヅコ)によく似ているが、

常緑樹ではない。

メタセコイヤかと思われ

るが、あの土地に自生した

とは考えられないし、関心

のおありの方は実見され、

樹の名称をお調べ願いたい。

尚、山路さんの庭内には

南方の珍らしい赤い実のな

る木がある、タラウと云

う。



公民館 第六回カラオケ大会

下市田区では去る九月二十五日(日)夜公民館において第六回カラオケ大会を開催した。

・カラオケ大賞

「京都去りがたし」

新井 衛さん(一区)

・歌唱賞

「しのぶ」

木村富士子さん(五区)

・熱演賞

「お久しぶりね」

松島浩子さん他(二区)

その他全員がそれぞれの賞を受賞した。



下市田公民館組織委員会検討

下市田区では将来の公民館組織のあり方につき正副部長、区・公民館関係者等の皆さんで検討を重ねてきた。

下市田分館はかねてより他分館と比較して規模的にアンバランスがあるため各区単位に分館設定について

論議を行ったが結論として当面現状の分館組織はそのままとし、各区へ公民館業務を遂行する主事を設置し部長とともに運営を計ることとし代議員会で承認を得六十四年から実施することとした。

六十三年度 下市田文化まつり行われる

去る十月二十二日(土)二十三日(日)に公民館において区の文化まつりを開催した。

・敬老会招待対象者(七〇歳以上四〇七名)

喜寿祝 二五名

米寿祝 六名

卒寿以上 八名

林 園生さん(M28四区)

桃沢ひろあさん(M28六区)

市岡ますあさん(M30二区)

小川よしあさん(M30五区)

仲平いずみさん(M31三区)

上沼さよさん(M31一区)

中島安恵さん(M31三区)

竹村かをるさん(M31六区)

当日は区内の日頃鍛えた各クラブのみなさんの作品書、絵画、生花、盆栽、手芸、陶芸の展示、茶道クラブの接待。二十三日午後には敬老会に併せ民踊、カラオケ、詩吟、大正琴、保存会青年部の獅子舞の披露もありお年寄りにも喜ばれ盛大な文化まつりとなった。



下市田工業団地シリーズ

③

日本の住宅事情を

手軽に解決する小住宅

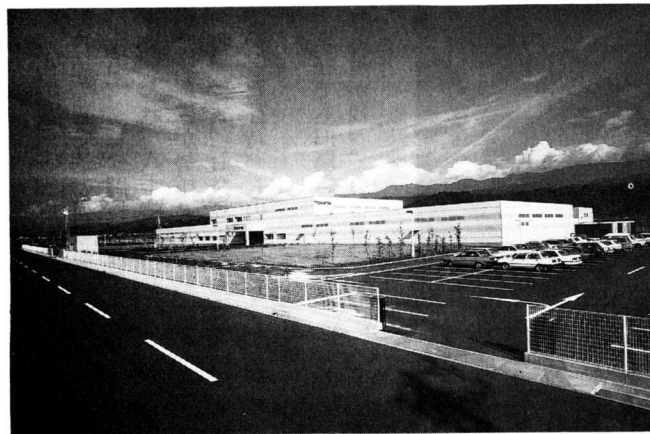
北星ハウス工業株式会社中部支店

広々とした田園地帯、東 ちに生れ建設の力強い響き西にそびえる中央アルプス、がこたえます。伊那谷を代南アルプス、その中心を分 表する下市田工業団地の一ける様に天竜川が雄々しく のは私共が御世話になった流れる。素晴らしい環境の中は今春四月。早いもので、近代の工場群があちこすでに半年がたちました。



ホクセイハウスも子供の勉強部屋から小住宅に至る迄プレハブハウスメーカーとして二十一年目を迎え、お陰様で業績も年々増加の一途をたどり、ハウス業界の中では全国シェア第二位の販売実績を誇っています。三年前、長野支店として、松川町元大島に出店して以来、業容の拡大と共に場所も手狭になり、この度団地内に移転し、中部支店に名称変更しました。中央高速道の利用

を含めて現在、長野・愛知岐阜の三県下を統轄しております。名古屋・松本に営業所があり、毎日入って来る受注に工事予定を組み現在十数名の組立班が、遠くは長野県の最北端の飯山から、南は豊橋・知多半島方面に至る迄中部支店を基地に行き交っております。ハウス部材も現在は本社より八〇%供給で二〇%を支店で生産加工しておりますが三ヶ年計画で工場を増設して、現地生産九〇%程度迄生産を高める予定でいます。東京の本社生産よりもこちらの支店生産の方が単価も安価で生産できる条件があり、将来に向けては逆輸出も考えております。



地域社会の一員として

トキナー光学株式会社長野工場

私どもの会社は、昭和二十五五年五月に東京は新宿にうぶ声をあげて以来光学機器、とりわけカメラ用交換レンズのメーカーとして平界に確固たる地位を築いてきました。

い求め下さい。下市田工業団地も三年後には見違える程工場が立ち並び、増々発展する事と思います。私共も微力ながら、農業・商業・工業のバランスのとれた町に致します。

設立するなど輸出を中心として大きく発展してきました。しかし貿易摩擦、円高等の時代の流れにつれ近年は国内販売を強化し輸出比率も八〇%以上あったものが現在は五五%・六〇%と国内の比率が増加しつつあります。

「トキナー光学株式会社」を設立して以来となります。きれいな空気とアルプスの清水、そして人情こまやかにして手先の器用な地域の人々に支えられ、澄みきったレンズの製造に業績をあげてきました。たまたま生産合理化のため交換レンズの一貫生産工場を考えたところ、高森町の吉川町長さんはじめ関係各位のお力ぞえを得て、すばらしい環境にある下市田工業団地へ主力製造工場の完成をみる事が出来ました。すばらしい環境と立派な建物と設備を持つことが出来たので、これからは内部の充実に社員一同努力いたし、高森町の「緑と福祉と文化の町づくり」に少しでも寄与いたす所存であります。今後とも地域の皆様のご支援を心からお願い申し上げます。

・会社概要

本社 東京都町田市 野津田町

資本金 三億円

従業員 約五〇〇名

長野工場敷地面積

二四四二八㎡

建物延面積

六三三八㎡

従業員 一五〇人

史跡めぐりシリーズ (14)

下市田の古墳

北原金二(二区)

猿塚(唐沢第一号)

と伝承

唐沢原台地の東北端、高森町歴史民俗資料館の東南一〇〇mの畑中に東西二・四m南北一三・八m高さ一・三〜一・九m(平均一・五m)の長方形の土壇がある。壇上には九mに一一・四mの平場があり、全面草生地となっている。この地は昔から下市田区有地にて、割合良く保存されている。大正十一年に故市村先生が故中村秀雄氏(中村藤雄氏の父)の立合にて実測調査した時、石室の在否不明にて未発掘である。附近から土師器・須恵器の破片も散布していたが、古墳であるか不明の点がある。将来高森町教育委員会にて発掘調査する機会があれば、非常に興味を持たれます。

伝承に依るとこの土壇は往時(四〇〇年前)この地の領主であった松岡氏が舞台にし猿楽を催行したから猿塚といわれた。

松岡氏の没落した時、猿

楽に用いた装束や道具の類をここに埋めて塚が出来たのだと伝えられる。松岡氏の菩提寺安養寺の鎮守神荒神様のお祭りが毎年四月三日・四日に行われ、松岡氏の伝承の猿楽が奉納されていた。その行事が村の産土神秋山神社にうつられ現在も年々の祭典には獅子舞とお神楽が奉納されている。

(故中村秀雄氏談)。

現在秋山神社の祭典に奉納されている囃屋台の御神楽は七曲である。宮神楽・猿囃・笛々囃・夜神楽・三門・佐衣・大間の順に奉納されている。この七曲の御神楽の中に松岡城の猿楽の曲が二、三曲伝承されていると思われる。

明治・大正・昭和の初め四月三日は荒神様の屑祭りには夜神楽から始められ夜神楽で終わるように奉納されました。猿囃は猿楽らしく思われ、又笛々囄は非常に美曲です。この三曲が注目されます。

区民の皆様知っている方

教えて頂きたい。

松岡城と騎馬道

旧道羽根坂を登り猿塚前の唐沢原に至り、その唐沢原の東北端に吉田に通ずる旧道があります。この道は松岡城の騎馬道にて大丸公園下にて吉田からの道と一緒に西に進み、高森町南小学校の裏を通り、昔小学校の奉安殿のあった所(現在はプールの附近)

から現在の通学道路にそって角田原を進み御射山神社(古墳の裏を通って松岡城に至る)道は松岡城の騎馬道といわれ、八十騎といわれた騎馬隊が勢揃いし緊急の時、儀式、お祭りに進んでいった往時がしのばれます。

現在でも旧騎馬道と思われる道が残っています。

× × × ×



唐沢第一号古墳

心の素描画

上沼政夫(三区)

一、浜辺にて

暗い海の中からいくつもの波が生まれてきて、規則正しく寄せては返す。

海からの風は穏やかで、酔いのまわった体には気持ちがいい。頭上に星空が広が

り、はるか沖には漁船の灯が見え隠れしている。秋が

始まったばかりなのに、夏のにぎわいが嘘のような浜

辺は波の音が響くだけ。

防波堤に腰をおろしぼんやり眺めているそんな風景。

今夜はなんだか寂しいね。

こうしてみんなと一緒にいるのに、心だけはとても遠くにあるみたい。闇の中に消えてゆく、たばこの煙さ

え悲しく見える。

波の音が次第に大きくなっ

て仲間達の声が遠ざかり、

今ひとりの狭間に迷いこむ。

昔、大好きだった隣の女ノ

子や、天国にいるおばあち

ゃんと猫のミケ、そして大

人になるたびにひとつずつ

失くしてしまった夢や希望

を探して、今宵限りの夢旅

行。寂しい心を道連れに薄

墨色の空に星がひとつずつ

消えゆくまで

二、秋

私の背丈の二倍はある、背

高のつぼのすすきたち。風

が吹いてくるたびに頭をよ

せあって、さっきから何を

ささやきあっているの。も

うすぐやってくる冬將軍の

こと、それとも遠くに見え

恋人たちの噂話――。

「カサカサ」と「ザワザワ」

とおしゃべりする。さっ

きから見上げている私を全く無視して夢中に話してる。やわらかな日射しは、黄色味をおびた葉うらに影を写し出し、遠くの山は色づき始めて、青い空に白い雲がゆっくりと流れゆく。それはすてきな秋の一日。空は日増しに輝きを失いその深さを増す。それが頂点に達した時、夏は完全に終わりを告げる。今まで大事に抱いていた思い出はその瞬間――きらめく星となり、波方の空に飛散する。

随想

癌の予防Ⅱ禁煙

藤が丘内科 後藤 晃

近年高齢化社会になり、21世紀初めには平均寿命が97歳位になるであろうと言われているが、本当にそうなるでしょうか。厚生省が発表した昨年の死因及び死亡者数を見ますと、第一位が癌で20万人を突破し、第二位が心臓病、第三位が脳卒中でした。これを見ま

すと、癌・心臓病・脳卒中を避けさえすれば、健康かな老年を迎えることが出来るかがわかります。私達は、もし出来ることならいつまでも生産性のある人間として社会につくして行きたいものです。健康かな老年を迎えるにはどうしたらよいかと言うことが、大切な問題になります。ここでは死因第一位の癌について、又、その予防について書いてみます。

日本人に一番多いのは胃癌、次いで肺癌であります。胃癌と肺癌の死亡数は昨年

の比率では二対一でした。この比率は戦争直後は三〇対一でしたから、胃癌の減少に比べ、いかに肺癌が増加したかわかります。胃癌の死亡を肺癌の死亡曲線が、21世紀前には完全に交叉するであろうと予測されています。

診断率の向上はあるにしても、この肺癌の予想以上の増加には注目しなければならぬと思います。厚生省発表の健康マップにより

ますと、長野県の肺癌標準化死亡比は、男性の場合全国で最低でこれは非常に喜ばしいことですが、近年この伊那谷の大气が年々悪化して来ており、このことは、まだ大木とは言えない杉の頂上が枯れる現象が各地区に見られることから

はつきりしています。40歳以上の男性で、喫煙しない人も肺癌になっていて、人口二二〇万対二三・

〇、時々吸っている人では四二・四、二十本から二十四本吸う人で一三四・三、五十本以上では一五・三倍

になって、一日喫煙本数の多かった人ほど、多く肺癌で死亡しています。未成年でタバコを開始しますと、一日平均五本でも非喫煙者の三倍も肺癌になるリスクが高くなって来ます。本数を無視しましても15、19歳で開始しますと、非喫煙の場合に比べ六倍以上の差が認められています。喫煙開始年齢は、肺癌リスクに非常に影響するわけで、未成年者の喫煙は絶対に止めさせなければなりません。

近年、注目されていることは間接喫煙(受動喫煙)の影響です。一日二十本以上吸う夫をもつ非喫煙の妻の肺癌のリスクは、夫が非喫煙の場合に比べ、約二倍高くなっています。

癌になりたい人はタバコの煙に近づきましよう。

草木染に魅せられて

手塚和子(二区)

突然に原稿の依頼をうけ気楽に毎日を過ごしていた私は困ってしまいました。

お母さんがしている草木染でも書けばと言われて、それなら何とかと思い筆を取りました。

別所温泉に旅行したとき草木染のお店へ入って織上がっていた梅・山もものやわらかい暖かみのある深い色に魅せられました。

寒さも過ぎばかした或る日お寺に参りましたら私の大好きな寒紅の梅の盛りでした。一枝いただき鉢を入れると芯まで紅がさしているのに驚きました。き

っとピンクの別所で見たと胸おどらせ花を楽しませていただいた後に、枝を小さく刻んで煎じ出し絹の布を入れると、思ったとおり

あわいピンク色に染まりました。それに明ばんを入れるとたちまちクリーム色に変わりそれは何とも上品な色に

服には到底着られないと思う色でも流行と成るとそれが着ている人を新人に見せかけて引立たせるものです。昔の人も自分を美しく見せたいという本能からさまざまな工夫をして野や山に生えている草木を取ってきて染めたのでしょう。赤い萩の花が咲けばその汁をこすりつけて模様を描いたかも知れません。たとえ洗えば落ちてしまふはかない飾りであつても昔の女のゆたかさを感じます。

天然の草や木の持つている色の美しさ、あたたかくて、やさしくて、不思議に嫌みがないのです。庭のもみぢ・花すおう・すすきの穂・いたどり、何でもどんな美しい色が出るかと楽しみに乾燥してあります。古いちりめんを染めて何を作ろうかと、又これが私の楽しみなので



す。

市田柿

私たち太鼓クラブのふえ
の人達は、まだふえをはじ
めて、半年もたつてないと
いうくらいでした。ついさ

商工祭での

太鼓のえんそう

小六 久保田 美雪 (六区)

いきん、やっという音が出るようになったくらいでした。今まですごく苦労してきたので、なんとかせいでうしたいと思いました。

ドンドコドンドコ……と、

小太鼓の人たちが打ちはじめました。小太鼓がドンドコを、四回たたいてから、ふえと、大太鼓が入りました。

とを信じていてくれること
なんだと思い、引き上げる
ことにしました。

三年生になる前の春休み
役員はほとんど毎日登校し
今年の活動計画を立て、そ

れを役員内で審議して何度も書きなおしました。

四月になり、活動計画に
 就いて活動していきまし
 た。しかし、初めのうちは、思

ったとおりにいかず、かん
べきな計画を立てたつもり
の活動も良いものにはなり
ませんでした。六月に入る

と中体連があり、うまくいくか心配でしたが、校長先生や他校の先生からも「高森中の応援はすばらしい。」と言われたときは、とてもうれしかったです。

僕が応援団長でいられるのも、あと五ヶ月を残すだけとなりました。これから三月までの応援団の活動はあまり目立つものはありませんが、最後の引き継ぎまできちんとやりたいと思っています。

×
 ×
 ×
 ×

「どうだった。」

と、聞いてみたら、

「すごく良かったよ。」

と、言ってくれたので、よ

うだ、と、思いました。

この太鼓の演奏は、ずっといい思い出になると思います。

編集後記

年月の流れは早く、私達編集委員の任期中で最後の区報第一四号ができました。

任期中は皆様のご協力により立派な区報を発行することができ、本当にありがとうございました。

どうか今後とも区報発展へ
一そうのお力ぞえをお願いし
ます。

